京都府豊かな森を育てる府民税　事業評価シート

府民税 使途分野	Ⅱ　森林資源の循環利用 Ⅲ　森林の重要性の啓発
事業名	Ⅳ　地域振興計画推進事業
事業 概要	**１　目的** 地域の森林・林業の特色や課題に応じた森林の整備・及び保全、森林資源の循環利用及び森林の重要性の啓発に係る先導的な取組を推進する。 **２　内容** **（１）山城広域振興局** **①モデルフォレスト運動参画促進事業** 多様な主体による森林保全の取組を推進するため、森林ボランティアグループの交流会を開催した。 **②山城産の木魅力発信事業** 山城産木材の利用促進のため、森林・林業体感ツアーを開催し、府民が林業体験や木工体験、講演会等を通して木材に親しみ、利用の意義を知る機会を提供したほか、市町村職員等を対象に、公共建築物等において木材の利用を進める研修会を開催した。 あわせて、宇治庁舎内の府民利用スペースに山城地域で生産・加工された木製品を整備した。 **（２）南丹広域振興局** **①全国都市緑化フェア in 京都丹波 木のぬくもり体感・体験事業費** 令和８年秋に南丹広域振興局管内で開催される「全国都市緑化フェア in 京都丹波」を多くの来訪者が期待できる好機ととらえ、プレイベントを実施し、地域の林業・木材産業の PR を行った。 **（２）（３）南丹広域振興局、中丹広域振興局（共同で実施）** **①「丹波くり」振興未来創造事業** 「丹波くり」の生産を拡大するため、中核的生産者である「丹波くりマイスター養成講座」の修了生等を対象に、更なる技術力と指導力のレベルアップを図るため、先進地の視察や講習会を実施した。 **（３）中丹広域振興局** **①循環型林業未来創造事業** 子育て世代や子どもをターゲットとした森林・林業、木材の魅力を PR するイベント「もくフェス in 中丹 2025」を開催し、多くの来場者に木の良さや森の恵みを体感いただいた。また、管内の林業事業体や市担当者を対象に再造林現場での現地検討会を実施し、多様な樹種の植栽並びに樹種及び立地に合った獣害対策方法について紹介し、担当者間での意見交換を通して、主伐・再造林現場での課題や情報を共有した。 **（４）丹後広域振興局** **①丹後の森適正管理推進事業** 地元住民や子どもたちを対象に、適正な森林管理に向けたセミナーや地域産木材の魅力を発信する丹後 WOOD FESTIVAL 等を開催するとともに、地元高校生を対象とした林業・製材業等研修会や、林業従事者の労働環境改善を目指した林業ＩＣＴ体験会等を開催した。

３　事業実績（Ｒ７年度）

事業区分	事業費	主な内容
（１）山城広域振興局	2,500 千円	・森林ボランティア交流会　１回 （５団体 24 名） ・森林・林業体感ツアーの開催　２回 （55 名） ・山城産木材の利用を進める研修会　１回 （６市町 12 名）
（２）南丹広域振興局	2,500 千円	・くり先進地の視察　２回（中丹と共同） ・地域の林業・木材産業の PR を展開
（３）中丹広域振興局	2,500 千円	・くり先進地の視察　２回（南丹と共同） ・もくフェス in 中丹の実施　１回 （約 3000 人） ・再造林に係る現地検討会の開催（1 回）
（４）丹後広域振興局	2,500 千円	・森林管理を学ぶセミナーや丹後 WOOD FESTIVAL 等の開催　７回（約 1189 名） ・地元高校生への林業製材業等研修会や林業 ICT 体験会を実施　４回（79 名）

（１）山城広域振興局



森林・林業体感ツアー
（山城産木材を使った木工体験）



森林ボランティア交流会
（チェーンソー目立て講習）

（２）南丹広域振興局



地域の林業・木材産業の PR イベント

（２）（３）南丹、中丹広域振興局



丹波くりマイスター養成講座修了生
技術向上研修

（３）中丹広域振興局



再造林に係る現地検討会



もくフェス in 中丹 2025

（４）丹後広域振興局



林業・製材業等研修会（地元高校生）



第３回丹後 WOOD FESTIVAL

自己評価

１　全体の評価

地域の森林・林業の特色や課題に応じ、各広域振興局が主体となって先導的な取組を実施し、森林・林業・地域産木材利用への理解促進等について一定の成果が見られた。特に、イベントや研修、現地検討会等を通じて、多様な主体の参画や関係者間のネットワーク形成が進み、地域ごとの特色を活かした取組の推進に繋げることができた。

２　各広域振興局の評価

（１）山城広域振興局

①モデルフォレスト運動参画促進事業

参加者の声

・プロの講師の説明が実践的で非常に参考になった。

・他の森林ボランティア団体の活動内容を知ることができ参考になった。

→　森林保全活動の継続・発展に向けグループ間の交流を進めることができた。

②山城産の木魅力発信事業

森林・林業体感ツアー

参加者の声

・木のはたらきや大切さを知ることができた。林業の仕事をもっと知りたい。

・木を育て持続させることが大切であることを知ることができ、有意義だった。

→　府民に対し森林の大切さや木材利用への関心を高めることができた。

山城産木材の利用を進める研修会

市町村職員の声

・地域産木材を利用した公共施設整備の取組事例について詳細を知ることができ参考になった。

→　市町村職員の木材利用の意義や知識の向上につなげることができた。

地域の林業・木材事業者やモデルフォレスト運動参画企業との連携により今後も取組を継続し、森林整備や地域産材利用の意義の周知・啓発を図る。

（２）南丹広域振興局

①全国都市緑化フェア in 京都丹波 木のぬくもり体感・体験事業

参加者の声

・南丹地域における森林・林業の現状を知ることができた。

・地域材の魅力を感じたので、自分も活用したいと思った。

→　林業の現状について理解の促進と、地域材に対する関心の向上につながった。

多くの方に発信できる機会を活用し、「木づかい」の機運醸成をさらに図り、森林資源の循環利用へつなげる。

（２）（３）南丹広域振興局、中丹広域振興局（共同で実施）

①「丹波くり」振興未来創造事業

修了生の声

・他産地における生産技術を学ぶことができ、修了生同士のつながりも深まった。

・生産者同士の繋がりをさらに強め、各地域での生産活動に活かしたい。

→　修了生を中心とした中核的生産者の団体が新たに立ち上がり、目標としていた「マイスター修了生の組織化」を達成した。

今後は、新たに設立された団体と連携し、各地域で生産指導を行い生産量の増加を図る。

（３）中丹広域振興局

①循環型林業未来創造事業

もくフェス in 中丹 2025

参加者の声

・木工体験など木にふれることができ、自分の生活の中にも木製品を取り入れたいと思った。

・自然観察会や林業機械の実演など、子どもから大人まで楽しめる貴重なイベントであり、今後も開催してほしい。

→　来場者に木材や森林の良さを体感してもらえることで、多くの府民に魅力を伝えることができた。

再造林に係る現地検討会の開催

現地検討会の参加者の声

・これから主伐・再造林に取り組もうと思っており、自社で再造林をする際の参考となった。

・再造林コストが課題であるが、造林樹種や獣害対策について学べたので、自社に合った方法を検討したい。

→　再造林に係る共通の課題を持つ現場担当者間での交流が図られ、林業事業体への積極的な主伐・再造林の検討を促すことができた。

	今後も施業現場での素材生産に関する課題解決の取組、木材需要拡大のための森林・林業や木材の魅力発信を行い、森林や木に携わる人材の育成に繋げる。 **（４）丹後広域振興局** **①丹後の森適正管理推進事業** **地域住民に向けた森林の適正な維持管理セミナー** **丹後 WOOD FESTIVAL　等** 参加者の声 ・森林に対する前向きな取組を学べた。山林の相続で悩んでいたため、今後に活かしていきたい。 ・木材に触れることができ、木の香りを感じられて楽しかった。また来たい。 →　森林・林業や木材への関心を高めるとともに森林の保全活動を推進した。 **地元高校生や林業事業体に向けた研修会** 参加者の声 ・地元の山で林業作業が行われているとは知らなかった。木の伐採作業を初めて見ることができた。 ・安心・安全のためにはＩＣＴを活用した取組は非常に重要と感じた。 →　将来及び現在の担い手対策として、森林・林業について学ぶ機会の創出と林業ＩＣＴを活用した林業労働環境の改善に向けた取組を推進することができた。 今後も森林・林業・木材業・建築業に関わる地域での取組を支援するとともに、森林・林業や地域産木材の利用促進に向けた取組を継続し、森林や木に携わる人材の育成に繋げる。 **３　今後の事業の方向性** ・地域振興計画に掲げる地域の将来像を実現するため、引き続き、各地域が抱える森林・林業の課題に対して、広域振興局が多様な主体と連携しながら先導的な取組を推進するとともに、地域ニーズを捉えた効果的な事業を展開していく。 ・また、イベント等の参加者に対し、森林・林業・木材利用に係る関心や理解について、アンケートなどを実施することで傾向を把握し、今後の施策の参考とするとともに、普及啓発事業に関する評価指標とする。
有識者会議の意見	**地域課題に即して実施していることは理解できるが、本庁主体で実施するⅠ～Ⅲの府民税事業との関係性が分かるよう、表現を検討いただきたい。**